

ようぼく一斉活動日のご案内 10月29日(日) 西宇和支部会場

「教祖百四十年祭ようぼく一斉活動日 西宇和支部会場のご案内」

教祖百四十年祭に向かう三年千日、同じ地域に住むようぼくが、互いに励まし合い勇ませ合って、それぞれの教会や個人の年祭活動の更なる実践につなげるため、今年、来年、再来年の3年間に計5回、支部内の会場で「ようぼく一斉活動日」の行事が開催されます。

いよいよ第一回目の開催日が近づいてきました。教会から配布される参加カードを持参して、ふるって会場にお越し下さい。(会場にも参加カードはあります) 所要時間は、おおむね約2時間を予定しております。

【日時】立教186年(令和5年)10月29日(日)
 午後1時受付 1時30分開始 4時まで

【会場】天理教西宇和分教会

八幡浜市千代田町375
 0894-22-1833

【参加御供】300円(中学生以下は無料)

【対象】教会長、ようぼく、信者

【持ち物】はっぴ、筆記具

【駐車場】西宇和分教会駐車場、もしくは近隣の

コインパーキングをご利用下さい。コインパーキング利用の場合は、受付で料金をお支払いします

【内容】

おつとめ、論達拝読、ビデオメッセージ視聴、※愛媛教区制作教祖伝ビデオ視聴、サイドトークなど

(※稿本天理教教祖伝の第一章、第二章についてのビデオがあります。教祖伝をお持ちの方は、事前に読んで頂くと一層理解が深まると思います。)

【会場責任者】天理教西宇和支部長 出水善紀

0894-22-1833

教祖百四十年祭愛媛教区オリジナル缶バッジ(会場受付にて、一個50円で頒布しております)



教区・支部 10月予定表

9月30日(土) 9時30分
 支部をいがいけ

陽幡分教会

2日(月) 午後1時

支部例会 真穴分教会

9日(月) 午前8時

ハートクリン

ポケットパーク

29日(日) 午後1時30分

ようぼく一斉活動日



支部情報ねっとへのQRコード →

「ネギ」

ユリ科もしくはネギ科



関東は白ねぎ、関西は青ねぎと言われてきたように、関西では青い葉の部分を好み、関東では盛り土をして白い部分を長くしたものを好んできました。白ねぎとは主に白い部分を食べる根深ねぎのことで、長ねぎなどとも呼ばれ、根元に土寄せして白い部分が長くなるように育てたものです。「加賀ねぎ」、「千住ねぎ」、「下仁田ねぎ」「曲がりねぎ」などがあります。

関西で多い青ねぎとは葉ねぎとも言われ、主に京都発祥の「九条ねぎ」のことをさしています。ネギ特有の強い香りの成分は硫化アリルと言う成分によるもので、ビタミンB1の吸収を助ける他、血行をよくし、疲労物質である乳酸を分解する作用などがあるとされており、肩こりや疲労回復にも効果が期待できます。

教区にをいかけ研修会の結果報告

教区にをいかけ研修会開催

8月30日残暑の厳しい中、本部准員、布教部社会福祉課長、天理教啓発委員会委員長、満洲眞勇分教会長村田幸喜先生をお迎えさせて頂き、各支部から47名内西宇和支部から7名スタッフ15名計62名で開催させて頂きました。

午前の部講演、質疑応答、午後の部路傍講演、戸別訪問の実動、ふりかえりが行われました。先生は、教務多忙の中、時間を見つけ天理駅前で路傍講演されており、教祖40年祭に向けて路傍講演を千百回を心定め、研修会の当日の朝も、道後で路傍講演をされました。先生はお話しの中でいつでも、どこでも、にをいかけをさせて頂くと意識を持って通る事が大事で、そうすることで神様がそういう出合いをお与え下さる。また、それぞれ立場で自分の出来るにをいかけを続けること。今日あるのは親親の信仰のお陰であり、自分たちも親親のように種を蒔いて行かなければと話されていました。午後の実動にあたっては先生自ら教務支庁の前で路傍講演をして頂き、参加者皆さん、勇んで路傍講演、戸別訪問にとめられました。

先生は更に質疑応答にも丁寧にお応え頂き、参加の皆さんは勇心いっぱいにお帰り頂いたことと思います。9月にはをいかけ強調の月です。月末にはをいかけデーがとめられます。支部内のような皆様の皆様にはこぞつてご参加頂けますようよろしくお願い致します。

支部布教部長 岡 幸平

天理時報手配りの予定

- 10月の手配りの予定です。
- 4日号 9月29日(金) 到着予定
- 11日号 6日(金) 到着予定
- 18日号 13日(金) 到着予定
- 25日号 20日(金) 到着予定

天理時報に掲載される!

ようぼく一斉活動日に独自プログラムとして教区で動画を制作された事が天理時報9月6日号に取り上げられた。以下抜粋

「いつも心に ひながたを」と題した動画を制作した。これは、『稿本天理教祖伝』の内容をインタビュー形式で紹介し、ひながたにより親しんでもらおうとするもの。前5回の開催に合わせて、『教祖伝』全10章の内容を2章ずつ解説

する予定だ。

昨年「論達第四号」

が配布された後、教祖一四〇年祭へ向かって、「愛媛っ子 いつも心に

ひながたを」をスロ

ーガンに掲げた教区。

教区長を中心に実行委員会を立ち上げ、動画制作の企画が持ち上がった。

制作にあたり、天理

教校で長年職員を務めた瀬戸嗣治さんに講師

を依頼。その後、瀬戸

さんが作成した原稿を

基に実行委員会のメンバーで話し合いを重ね

ながら台本を作り上げた。8月24日には第一章「月日のやしろ」と

第二章「生い立ち」の内容を解説する動画を撮影。

入口松司教区主事が総合司会、二宮道

一教区布教部長がインタビューを務めた。

支部活動記録 立教186年8月

月日	活動	場所	人数
8/1	支部にをいかけ	和之元	中止 名
	ハートクリーン	市内	名
8/20	ハートクリーン	ぼけつとP	6 名
8/	少年ホームひのき		中止 名

※どうぞお気軽にご参加ください。詳細はお近くの教会にお問い合わせ下さい。

【編集後記】ZEM連続テレビ小説で、

牧野富太郎博士をモデルにした「らまん」が放送されてる。牧野博士が94歳でなくなられた翌年1958年に植物園が高知市五台山に開園した。起伏のある8ヘクタールの敷地に、富太郎ゆかりの植物など3000種類以上が植えられている。広い園内に本館、展示館、研究物流センター「ラボテラス」、温室など建設され、それらを土佐の野山を再現するように植栽でつながれており、牧野少年が夢中になって植物採集に明け暮れた当時を想像させる。記念館にはシアターで、足を休ませられる。「名なし草など」という植物は一本もない。牧野博士がそう語っています。園内では、ほぼすべての植物に名前が書かれたラベルが付いています。「おまんは誰じゃ?」と思ったら、ぜひ子どもと一緒にラベルを見ましょう。なんだか心が潤ってきますね。(陽)

【CM】貸し切りバスは 八幡浜観光バス(株) TEL (0894) 36-0868 八幡浜市保内町喜木1番耕地116-1